

早稲田大学  
一般社団法人 日本分析機器工業会

## JASIS 2024 特別企画

### 『早稲田大学×JAIMA 次世代研究人財育成に向けて』

**参加無料**

開催日 : 2024年9月4日(水) 14:30 – 16:25  
開催会場 : 幕張メッセ 国際会議場 2F 201会議室

一般社団法人 日本分析機器工業会 (JAIMA) は、2018年から早稲田大学大学院創造理工学研究科との協力のもと、早稲田大学で協力講座「素材機器分析評価」(創造理工学部との合併科目)を開講し、分析機器技術人材の育成に貢献しています。

また、社会で活躍する計測分析人材の育成、産学連携の推進などの幅広い相互協力を目的に、2024年2月1日に、早稲田大学とJAIMAは連携と協力に関する包括協定を締結いたしました。包括協定の締結を記念し、幕張メッセで開催される最先端科学・分析システム&ソリューション展「JASIS (Japan Analytical and Scientific Instruments Show) 2024」(2024年9月4日(水)~6日(金))にて初日(9月4日(水))に特別企画を開催いたします。

開催日時	2024年 9月 4日 (水) 14:30 – 16:25
開催会場	幕張メッセ 国際会議場 2F 201会議室
定員	200名
参加費	無料
申込方法	JASIS 聴講申込サイト (8月1日 オープン予定) からお申込みください。 <a href="https://www.jasis.jp/">https://www.jasis.jp/</a>

	プログラム内容	講師
14:30 – 14:35	開会挨拶	日本分析機器工業会 会長 足立 正之 氏
14:35 – 14:40	来賓挨拶	文部科学省 大臣官房審議官 (科学技術・学術政策局担当) 西條 正明 氏
14:40 – 15:05	早稲田大学における学生のJAIMA技術認定制度とコアファシリティ構築支援プログラムの取組みについて	早稲田大学 研究推進部 部長 天野 嘉春 氏
15:05 – 15:30	東京農工大学におけるコアファシリティ推進事業の取組み	東京農工大学 学術研究支援総合センター センター長 スマートコアファシリティ推進機構 機構長 箕田 弘喜 氏
15:30 – 16:20	<b>特別記念講演</b> サークュラーエコノミーのための分離技術開発とそれを支える高度分析	早稲田大学 理工学術院創造理工学部 教授 所 千晴 氏
16:20 – 16:25	閉会挨拶	早稲田大学 理事 (研究推進部門総括・産学連携担当) 若尾 真治 氏

## －講師紹介/講演概要

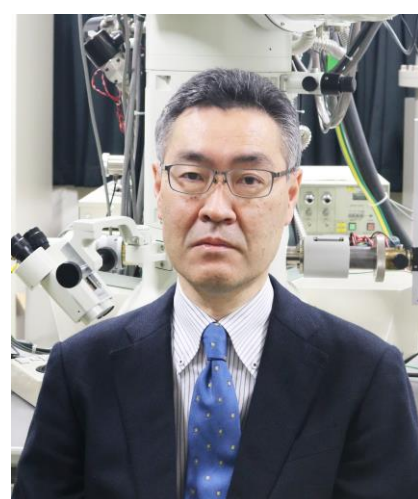


天野 嘉春 氏

### 【講演概要】

早稲田大学は、日本分析機器工業会の協力のもと、2024年度から学生の技術認定制度を開始した。今後、本制度を活用し、分析機器を利用する学生の育成に取り組んでいく。これは、2020年度の文部科学省先端研究基盤共用促進事業（コアファシリティ構築支援プログラム）採択を契機として、全学的な研究基盤体制の整備に取り組んできた成果のひとつである。本講演では、技術認定制度及び本学の研究基盤体制整備の概要を紹介する。

2008年より早稲田大学 理工学術院 教授。2008年スイス連邦工科大学ローザンヌ校 客員教授。制御システム工学、航空宇宙工学、機械工学の研究に取り組む。2017年から2019年まで理工学術院総合研究所副所長、2022年より研究推進部長。スマート社会技術融合研究機構 動力エネルギーシステム研究所所長ほか。電子情報技術産業協会 制御・エネルギー管理専門委員会、日本機械学会フェロー， IEC TC65エキスパート。



箕田 弘喜 氏

### 【講演概要】

東京農工大学では、研究基盤である大型の学術共用研究機器の利用体制を抜本的に見直し、研究支援体制を強化するために技術職員の育成、機器の高度化等の課題解決を行う組織の構築・整備を進めている。本講演では、その紹介とその中での人材育成の取り組みについて紹介する。

博士（理学）。2014年より東京農工大学 工学部 物理システム工学科 教授。2019年4月より改組により東京農工大学 工学部 化学物理工学科 教授。

2023年4月より東京農工大学 スマートコアファシリティ推進機構 機構長兼務。

専門は、電子顕微鏡法の開発と電子顕微鏡法を用いた構造解析およびナノサイエンス。



所 千晴 氏

### 【講演概要】

サーキュラーエコノミーに対する社会からの関心が高まっているが、その実現には、経済的に資源を循環させるための省エネルギー型の分離技術とプロセス開発が重要である。さらに透明性をもって高効率に資源を循環させるためには、循環する機能を正確に把握し、分離を評価するための高度分析技術もまた必要不可欠である。

2015年より早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授。クロスアポイントメントにて東京大学大学院 工学系研究科 教授を兼任。JX金属株式会社社外取締役ならびに株式会社トッパンフオトマスクの社外取締役を兼任。経済産業省，環境省，文部科学省，人事院，東京都等の委員をつとめる。2022年よりサーキュラーエコノミーに関する産官学連携活動のための循環バリューチェーンコンソーシアムを立ち上げ会長として活動。著書に「資源循環論から考えるSDGs（エネルギーフォーラム社2022年）」など。専門は資源循環工学，化学工学，粉体工学。